

目次

■ 論文	谷口正樹 戦国大名による流通統制と都市支配 ——安芸国厳島を例に——	2
	大山大樹 グループワークにおける周辺の聞き手の質問を起点とした省察の生成 ——フランス語初級クラスの相互行為分析から——	15
	蔣従楠, 池上知子, 大澤裕美佳 異文化適応戦略と留学生の精神的健康 ——社会的環境との適合性に注目して——	27
■ 研究ノート	川元奈々 足利義昭・織田信長と京郊の在地社会 ——曇華院領山城国大住庄を事例として——	40
■ 研究展望	金甲鉉 宋代書院研究の現状と課題 ——2000年以降を中心に——	50
■ 特集	社会的降格：歴史学と社会学の視点の交差	
	川野英二 趣意説明	57
	アンドレ・ゲラン（中條健志訳） 空間的降格 ——現代フランスの都市最貧層にかんする歴史学的アプローチ——	58
	ジェラルド・ノワリエル（中條健志訳） 労働移民の空間（1880-1930）	62
	セルジュ・ポーガム（川野英二・中條健志訳） 結合理論からみた貧困知覚 ——自然化と罪悪化，犠牲化——	65
■ 海外レポート	前田充洋, 道上祥武 イリノイ・レポート ——OCU-UIUC Exchange Symposium とシカゴ巡見をとおして——	76
■ ニュース 投稿規定 編集後記 執筆者一覧		80
		88
		89
		90

表紙の写真はシカゴ大学食堂内部。キングスカレッジ・ロンドンをモデルにした内装の壁には、創設者のJ.D. ロックフェラーをはじめ、歴代の大学総長の肖像画がならぶ。室内では研究にいそむ学生の姿が見られる一方で、奥には賭博に興じるシカゴ市民の姿もある。シカゴ社会の一端を垣間見ることができるワンシーンである。
文：前田充洋